

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	All right荏田南		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 18日		2026年 3月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日		・活動ごとにエリア分けを行い、見通しを持ちやすい環境設定をしている ・個々の特性に応じた座席配置や刺激調整を行っている

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりに応じた丁寧な支援	・個々の特性や発達段階に応じた声かけや関わり方を職員間で共有し、統一した支援を行っている ・日々の様子や課題を記録し、支援方法の見直しや個別支援計画に反映している	・支援内容やねらいをより分かりやすく保護者様へ伝える工夫 ・職員研修や事例共有を通じた専門性の向上
2	・活動プログラムの工夫	・子どもの興味関心や特性に応じた多様な活動を取り入れ、固定化しないよう工夫している ・室内活動と屋外活動を組み合わせ、幅広い経験ができるようにしている	・発達段階や課題に応じたプログラムの体系化 ・新しい活動や教材の導入による支援の幅の拡充
3	・環境設定・構造的工夫	・視覚的に分かりやすい掲示や配置により、活動の見通しを持ちやすい環境を整えている ・安全面や動線を意識した空間づくりを行っている	・個々の特性に応じた環境調整のさらなる工夫 ・季節や状況に応じた快適性の向上(温度・設備面の調整)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援・保護者交流の機会不足	・保護者の就労状況や家庭環境の多様化により、交流機会の設定が難しい ・職員体制や業務負担とのバランスから実施機会が限定されている	・外部研修やペアレントトレーニング等の情報発信の充実
2	・地域との交流の少なさ	・安全面や個々の特性への配慮から、外部との交流機会が限定されている ・交流先や実施方法の調整に時間を要する	・無理のない範囲での地域資源の活用(公園・公共施設等) ・教室間交流など既存の取り組みの拡充
3	・情報発信・周知の不足	・発信内容や方法が限定的になっている	・ブログやSNSの更新頻度を高める ・写真や具体例を用いた分かりやすい情報提供

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		All right 荏田南教室		公表日		2026年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動内容に応じてスペースを区切り、少人数グループでの活動を実施している ・静と動の活動を分け、使用する部屋やエリアを分散させている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・活動ごとにエリア分けを行い、見通しを持ちやすい環境設定をしている ・個々の特性に応じた座席配置や刺激調整を行っている	・一部の設備でバリアフリー対応が十分でない箇所がある ・情報提示の方法に個別差があり、より統一した工夫が必要	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		・評価結果の活用について、具体的な改善内容や達成状況の見える化を進める必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		・機会がまだない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		・放課後児童クラブや児童館との交流機会（合同イベント、行事参加など）を定期的に検討・実施する ・地域の公園やイベントを活用し、自然な形で他児童と関わる場面を増やす
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス Allright 荏田南教室

対象人数(保護者) 33人 回答者数 27人 回収 81.8%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26			1	・近くの公園なども使い本人も喜んでいます。	ご意見ありがとうございます。 当教室では、室内活動だけでなく近隣の公園も活用し、子どもたちがのびのびと体を動かせる機会を大切にしています。今後も、安心して楽しく過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		2	・送迎ができない日や希望曜日に通えないなどあるのもっと職員の方が増えたらいいなと思いますが、裏を返せば、安全に預かれる範囲を見極めてやっていただいていると感じるので、安心できます。	貴重なご意見をありがとうございます。安全に配慮し、適切な職員配置のもとで受け入れ人数や送迎体制を調整させていただいております。ご不便をおかけする場合がございますが、今後も安全面を大切にしながら、可能な範囲で体制の充実に努めてまいります。
	③ 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25			2		教室内は、子どもたちが活動内容を理解しやすいよう環境の整理や視覚的な配慮を行い、安心して過ごせる空間づくりに努めております。広さを活かしながら、今後も子ども一人ひとりの特性に配慮した環境整備を心がけてまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2		1	・冬になり、子供がコンクリートだから寒いと言っていました。 ・清潔かつ学習や運動・活動等に適した空間構造と仕様になっていると感じる。	ご意見ありがとうございます。清潔で活動しやすい環境と感じていただけていること、大変うれしく思います。一方で、冬場の寒さについてのご意見も参考にしながら、マットや空調の調整などを行い、子どもたちがより快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26			1	・送り迎えからプログラム活動・学習・生活習慣、また週末の外出に至るまで、子供の特性に合わせて丁寧に支援して頂いていると感じる。(声のかけ方や場合によって指導、困り事や特性が強くなった時の本人の対応・回避方法など) また送迎時やアプリでの活動報告がとても適切且つ有益でありたい。	温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。 お子さま一人ひとりの特性や状況に応じた関わりを大切にしながら、日々の活動や生活面の支援を行っております。また、送迎時やアプリでのご報告についても、ご家庭と情報を共有しながら支援につなげていける心がけております。今後も、お子さまの理解を深めながら、より良い支援の提供に努めてまいります。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1				ご理解とご評価をいただき、ありがとうございます。 今後も公表している支援プログラムの内容と実際の支援が一致するよう努めるとともに、子どもたちの状況に応じた支援の充実に努めてまいります。
	⑦ 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	26	1				ご理解をいただき、ありがとうございます。 今後もお子さまの様子やご家庭からのご意見を大切にしながら、ニーズや課題を踏まえた個別支援計画の作成に努めてまいります。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			4		放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえながら、放課後等計画を作成しております。 今後は、計画の内容や支援のねらいについて、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	2		1		個別支援計画に基づき支援を行っておりますが、支援内容がより伝わるよう、活動報告や面談等を通して分かりやすい情報共有に努めてまいります。今後も、計画に沿った支援の充実に努めてまいります。
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27					ご評価いただき、ありがとうございます。 今後も子どもたちが楽しみながら様々な経験ができるよう、活動内容に工夫を重ね、プログラムの充実に努めてまいります。
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1	8	14	・なくていいです。 ・仲町台教室と合同で行っている。	現在、地域の児童クラブ等との交流は定期的には実施しておりませんが、教室間での合同活動などを通して、子ども同士の関わりが広がる機会を設けております。今後も子どもたちの状況やご意向を踏まえながら、交流のあり方について検討してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2				今後も運営規程や支援内容、利用者負担等について、分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。	
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25			2		今後も「放課後等デイサービス計画」をもとに、支援のねらいや内容についてご理解いただけるよう、丁寧な説明に努めてまいります。	
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	8	7	・機会が増えると嬉しいです。 ・普段から丁寧な相談や支援を行っていただいているが、強いて言うなら事業所主催でなくても良いのでペアレントトレーニング等に関する情報提供(どこで受けられるなど)があればなお嬉しい。	貴重なご意見をありがとうございます。当事業所では、保護者様からのご相談やご希望に応じて、ペアレント・トレーニングの視点を取り入れた助言や支援を行っております。今後は、必要に応じて外部の研修やペアレント・トレーニングに関する情報提供についてもお伝えできるよう努めてまいります。	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1				ご評価いただき、ありがとうございます。今後も活動報告や面談等を通して、お子さまの健康や発達の状況について保護者の皆様と共有し、共通理解を図りながら支援を進めてまいります。	
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	2		1		今後も面談や日々のやり取りを通して、お子さまの様子を共有しながら、保護者の皆様の子育てに関するご相談にも寄り添い、必要な助言や支援を行ってまいります。	
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	22	5				温かいご評価をいただき、大変励みになります。一方で、「どちらともいえない」とのご意見も、私たちにとって大切な気づきとして受け止めております。今後もお子さま一人ひとりの気持ちや状況を丁寧にくみ取りながら、保護者の皆様にも安心していただける関わりを大切にし、より信頼いただける支援につなげてまいります。	
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	13	13	・最近共働きの家庭が多いため、開催しても参加が難しいかと思えます。スタッフの方々の負担も増えますし、それよりは日々の子供達の活動支援に集中して頂きたいです。 ・なくていいです。 ・保護者同士は仲町台教室に比べて少ない。もう少し機会があると嬉しい。	貴重なご意見をありがとうございます。現在、保護者会やきょうだい向けのイベントについては定期的な開催は行っておりませんが、保護者様のご意向やご家庭の状況が様々であることを踏まえ、実施の方法や必要性について検討しているところです。  一方で、保護者同士の交流を望まれるお声もいただいておりますので、無理のない形で情報交換や交流につながる機会について、今後のあり方を検討してまいります。引き続き、日々の支援を大切にしながら、ご家庭へのサポートの充実にも努めてまいります。
	⑲ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	5		5		日頃より様々なご相談やご意見をお寄せいただいていることに感謝しております。当事業所では、お子さまやご家庭からの相談・申し入れについて、職員間で共有しながら適切に対応できる体制づくりに努めております。一方で、いただいたご要望の内容によっては、安全面への配慮や事業所の運営体制、支援方針等を踏まえた検討が必要となるため、必ずしもすべてのご希望に沿うことが難しい場合もございます。今後もお子さまの安全と適切な支援を最優先としながら、保護者の皆様にご理解をいただけるよう丁寧な説明を行い、信頼関係を大切にしたい対応に努めてまいります。	
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	5				送迎時や活動報告、面談などを通じて、お子さまや保護者の皆様との意思疎通や情報伝達に配慮できるよう努めております。一方で、「どちらともいえない」とのご意見も参考に、今後はより分かりやすく丁寧な情報共有を心がけ、保護者の皆様に安心していただける関わりを継続してまいります。	
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	1			・もう少しSNSやブログの記事を増やしてほしい。	療育支援システムやブログを通じて、活動の様子や行事予定、自己評価結果などの情報発信に努めております。いただいたご意見を踏まえ、ブログの更新頻度をさらに高め、よりタイムリーで分かりやすい情報提供ができるよう努めてまいります。
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26				1		当事業所では、個人情報の取扱いに十分配慮し、情報の管理や取り扱い方法について職員全員で徹底しております。今後も安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	3		5	・たぶん入所時は説明を受けたと思います。	当事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を整備し、入所時や必要に応じて保護者の皆様に周知・ご説明を行っております。また、各マニュアルに基づき、職員向けの研修会や訓練を定期的実施するとともに、安全指針の確認や委員会での検討を通じて、事故や緊急時への対応力の向上に努めております。  今後も、安全で安心できる支援環境の維持・向上に努めてまいります。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		4		当事業所では、非常災害に備え、年2回、避難訓練週間を設けて避難や救出等の訓練を実施しております。訓練を通じて職員の対応力を高めるとともに、子どもたちが安全に行動できるよう支援しております。今後も安全確保を最優先に、継続的な訓練と環境整備に努めてまいります。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	23	1		3		当事業所では、子どもたちの安全を最優先に考え、日々の活動や送迎、プログラム実施にあたって、安全確保のための計画や指針を策定し、職員間で共有しております。また、必要に応じて保護者の皆様にも周知を行い、安心してご利用いただける環境づくりに努めております。今後も、安全・安心な支援の提供に継続して取り組んでまいります。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	20	1		6	・大きな事故は起きた事はありませんが、些細な事でも何かあると様子を詳しく説明してくれます。 ・事故等の発生がまだないのでわかりません。	当事業所では、事故や怪我等の発生時には、規定に基づき速やかに保護者の皆様へご連絡するとともに、状況や対応内容について丁寧に説明を行う体制を整えております。 大きな事故の発生はこれまでありませんが、今後も小さな出来事も含め、迅速かつ正確な情報提供を心がけ、安全と安心の確保に努めてまいります。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	3			・第二の居場所であって欲しいという希望通りになっています。	当事業所では、お子さまが安心して通える環境づくりを大切にしており、個々の居心地や安心感に配慮した支援に努めております。今後も、お子さまが笑顔で活動できる教室を維持・発展させていけるよう取り組んでまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	7		1	・スタッフの方が、楽しく通える様に試行錯誤して下さっていると感じます。 ・先生方の温かい支援や色々な活動のおかげで、楽しく通っています。	ご意見ありがとうございます。 当事業所では、お子さまが毎日楽しく安心して通える環境づくりを大切にしており、個々の興味や特性に合わせた活動や支援に努めております。今後も、笑顔で意欲的に取り組めるプログラムや関わりを継続して提供してまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	25	2			・他の事業所と違い(他より) 材料費、駐車場代や徴収されるお金が多い。 ・本人的には少し物足りない部分があるようです。 ・テストやイベントの早帰りにも対応していただくと助かります。 ・通所してから、非常に自己肯定感があり、前向きになりました。スタッフの方が、難しい部分を支援しつつ、本人の良い面を伸ばそうとしてくれた結果だと思えます。 ・私がどのように対応したら良いかわからない時に相談すると、素早く対応していただき本当に感謝しています。いつもありがとうございます。	貴重なご意見をありがとうございます。 当事業所では、お子さま一人ひとりの特性や状況に応じて支援内容を工夫し、自己肯定感や前向きな姿勢を育むことを大切にしております。また、保護者の皆様からのご相談には迅速に対応し、ご家庭と連携しながら支援を進めております。  いただいたご意見を踏まえ、材料費や早帰り対応など、より柔軟で利用しやすい運営にも努め、今後もお子さまやご家庭に安心してご満足いただける支援を提供してまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動の事です。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。